

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 7 部門第 4 区分  
 【発行日】平成 17 年 6 月 16 日 (2005.6.16)

【公開番号】特開 2003-143701 (P2003-143701A)  
 【公開日】平成 15 年 5 月 16 日 (2003.5.16)  
 【出願番号】特願 2001-334980 (P2001-334980)  
 【国際特許分類第 7 版】

B 6 0 L 3/00

B 6 0 L 1/00

B 6 0 L 9/18

【F I】

B 6 0 L 3/00 D

B 6 0 L 1/00 G

B 6 0 L 9/18 L

【手続補正書】

【提出日】平成 16 年 9 月 13 日 (2004.9.13)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

集電器を介して受電する直流電力の入力回路が、それぞれスイッチによって接断が可能な複数の出力回路に分岐され、これらの出力回路に、それぞれリアクトルを介在させてインバータが接続され、前記インバータの少なくとも一つが直流を定電圧定周波数の交流に変換するものであり、他が直流を可変電圧可変周波数の交流に変換するものであり、一つの定電圧定周波数形のインバータのバックアップとして一つの可変電圧可変周波数形のインバータを、直流側及び交流側で連携して切替操作する一対の切替器を備えた電気車制御装置において、

前記直流電力の入力回路を複数の出力回路に分岐する要素を一括収納して第 1 の装置とし、前記リアクトルを一括収納して第 2 の装置とし、前記インバータ及び切替器を一括収納して第 3 の装置として、これらの装置間を配線したことを特徴とする電気車制御装置。

【請求項 2】

集電器を介して受電する直流電力の入力回路が、それぞれスイッチによって接断が可能な複数の出力回路に分岐され、これらの出力回路に、それぞれリアクトルを介在させてインバータが接続され、前記インバータの少なくとも一つが直流を定電圧定周波数の交流に変換するものであり、他が直流を可変電圧可変周波数の交流に変換するものであり、一つの定電圧定周波数形のインバータに対して、そのバックアップとして一つの可変電圧可変周波数形のインバータを、直流側及び交流側で連携して切替操作する一対の切替器を備えた電気車制御装置において、

前記直流電力の入力回路を複数の出力回路に分岐する要素を一括収納して第 1 の装置とし、前記リアクトルを一括収納して第 2 の装置とし、前記切替器及び切替対象の前記インバータを一括収納して第 3 の装置とし、切替対象外の前記インバータを一括収納して第 4 の装置として、これらの装置間を配線した、

ことを特徴とする電気車制御装置。

【請求項 3】

集電器を介して受電する直流電力の入力回路が、それぞれスイッチによって接断が可能

な複数の出力回路に分岐され、これらの出力回路に、それぞれリアクトルを介在させてインバータが接続され、前記インバータの少なくとも一つが直流を定電圧定周波数の交流に変換するものであり、他が直流を可変電圧可変周波数の交流に変換するものであり、一つの定電圧定周波数形のインバータのバックアップとして一つの可変電圧可変周波数形のインバータを、直流側及び交流側で連携して切替操作する一対の切替器を備えた電気車制御装置において、

前記インバータの一部及び前記一対の切替器を一括収納し一つの装置としたことを特徴とする電気車制御装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

【課題を解決するための手段】

請求項 1 に係る発明は、

集電器を介して受電する直流電力の入力回路が、それぞれスイッチによって接断が可能な複数の出力回路に分岐され、これらの出力回路に、それぞれリアクトルを介在させてインバータが接続され、インバータの少なくとも一つが直流を定電圧定周波数の交流に変換するものであり、他が直流を可変電圧可変周波数の交流に変換するものであり、一つの定電圧定周波数形のインバータのバックアップとして一つの可変電圧可変周波数形のインバータを、直流側及び交流側で連携して切替操作する一対の切替器を備えた電気車制御装置において、

直流電力の入力回路を複数の出力回路に分岐する要素を一括収納して第 1 の装置とし、リアクトルを一括収納して第 2 の装置とし、インバータ及び切替器を一括収納して第 3 の装置として、これらの装置間を配線したことを特徴とする。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0013】

請求項 2 に係る発明は、

集電器を介して受電する直流電力の入力回路が、それぞれスイッチによって接断が可能な複数の出力回路に分岐され、これらの出力回路に、それぞれリアクトルを介在させてインバータが接続され、インバータの少なくとも一つが直流を定電圧定周波数の交流に変換するものであり、他が直流を可変電圧可変周波数の交流に変換するものであり、一つの定電圧定周波数形のインバータに対して、そのバックアップとして一つの可変電圧可変周波数形のインバータを、直流側及び交流側で連携して切替操作する一対の切替器を備えた電気車制御装置において、

直流電力の入力回路を複数の出力回路に分岐する要素を一括収納して第 1 の装置とし、リアクトルを一括収納して第 2 の装置とし、切替器及び切替対象のインバータを一括収納して第 3 の装置とし、切替対象外のインバータを一括収納して第 4 の装置として、これらの装置間を配線した、ことを特徴とする。

請求項 3 に係る発明は、

集電器を介して受電する直流電力の入力回路が、それぞれスイッチによって接断が可能な複数の出力回路に分岐され、これらの出力回路に、それぞれリアクトルを介在させてインバータが接続され、インバータの少なくとも一つが直流を定電圧定周波数の交流に変換するものであり、他が直流を可変電圧可変周波数の交流に変換するものであり、一つの定電圧定周波数形のインバータのバックアップとして一つの可変電圧可変周波数形のインバ

ータを、直流側及び交流側で連携して切替操作する一対の切替器を備えた電気車制御装置において、  
インバータの一部及び一対の切替器を一括収納し一つの装置としたことを特徴とする。